



探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和4年
12月15日
(木)
No.17

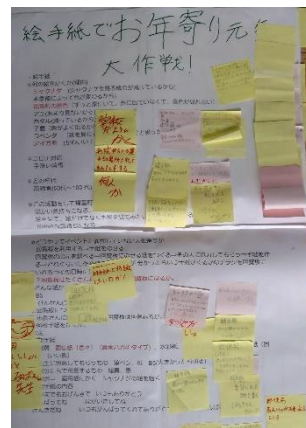
小学校5・6年生「夢の実現プロジェクト」研究授業実施



協議の時間をとることはできませんでしたが、12月5日(月)の3・4校時に、小学校5・6年生の研究授業がありました。目標は「今後の活動について、自分たちの思いだけでなく地域や保護者のアンケート結果から自分たちに求められていることをもとにし、課題解決の方法を整理・分析しながら考えを深めることができる。」でした。大きな紙に考えやアイデアを記入した付箋をたくさん貼ったり、Jamboardを活用して

交流したりするなど、活発に協働する児童の姿を見ることができました。また、発表では、他のグループの発表も自分事のようにとらえ、実際に活動するときはどうするのか疑問に思ったことを積極的に質問していました。その質問に、自分たちの言葉で答えることができる姿も、主体的に学習に取り組んできた成果ではないかと思えます。

この授業でも指導案に「本時のルーブリック」と一緒に、子どもたちの具体的な姿を組み込んでいただきました。これから、今年度のまとめとして研究紀要を作成していくことになります。今まで子どもたちの具体的な姿を組み込んでいなかった指導案に関しても、組み込んだ形で紀要に掲載したいと考えています。お手数ですが、組み込まれている指導案(小学校1・2年生、小学校5・6年生、中学校3年生)を参考にして、改訂しておいてください。



今年度のまとめに向けて～研究紀要の作成～

各グループとも、探究的な学習の活動も佳境を迎え、子どもたちの学びも深まっています。研究指定2年目のまとめとして、研究紀要の作成をスタートしたいと考えています。協力していただきたいことを下記のリストにまとめました。早めの作成・まとめをよろしくお願いいたします。

やってほしいこと	備考
○写真データを入れる。 場所「☆令和4年度 探究的な学習(県指定)→写真」	随時
○資質・能力が表れた、児童・生徒の授業中の姿の記入。(教師側の見取り) 場所「☆令和4年度…→☆資質・能力ルーブリック→12月姿」	12月22日(水) 切
○振り返り、授業での成果物 冬休みに確認、必ず手元にとっておく。	随時
○導入指導案 ほぼ直しなし。一度確認しておく。	なるべく 早めに
○本指導案(最新のものに更新) ※FIT No.16 参考 研究協議での改善点を生かし、児童・生徒の具体的な姿を設定する。	12月28日(水) 切
○各ブロックのまとめ(2枚) 工夫点、児童・生徒の振り返り等の分析、アンケートより成果や課題等	切

今、求められる力を高める 総合的な学習の時間の展開



11月7日(月)に来校していただいた、広島県義務教育指導課 小坂弘尚指導主事が講話の中で紹介されていた「今、求められる力を高める 総合的な学習の時間の展開」を購入することになりました。課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現など、学習の段階ごとの実践例や、資質・能力の設定の仕方、単元計画の作成の仕方など、迷ったときに参考になる資料がたくさん載っています。FIT 通信掲示の近くに置くので、ぜひご活用ください!



また、単元のまとめのあり方について話をさせていただく中で、質の高い探究と判断する基準として、「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編(9ページ)」を紹介していただきました。

(中略)質の高い探究とは、次の二つで考えることができる。

一つは、探究の過程が高度化することである。高度化とは、①探究において目的と解決の方法に矛盾がない(整合性)、②探究において適切に資質・能力を活用している(効果性)、③焦点化し深く掘り下げて探究している(鋭角性)、④幅広い可能性を視野に入れながら探究している(広角性)などの姿で捉えることができる。

もう一つは、探究が自律的に行われるということである。具体的には、①自分にとって関わりが深い課題になる(自己課題)、②探究の過程を見通しつつ、自分の力で進められる(運用)、③得られた知見を生かして社会に参画しようとする(社会参画)などの姿で捉えることができる。

小・中9年間の学びが、高校での学びとどのようにつながっているのか、意識することも大切ですね。

これからの予定

- 研究紀要に向けて
 - ・12月15日(木) これからの日程 研究紀要の大まかな内容
 - ・12月22日(木) 校内研修(各自で活動) 資質・能力が表れた、児童・生徒の授業中の姿(教師側の見取り) 切
 - ・12月28日(水) 各ブロックのまとめ(二枚) 切 本指導案(更新済み) 切
 - ・1月5日(木) 修正箇所訂正
 - ・1月12日(木) 単元のまとめ打ち合わせ
- 次年度の教育研究会【福富小・中】に向けて <令和5年11月14日(火)決定!>



先達の言葉

人はその視野の範囲でしか成長できない。

ジョン・パウエル(イギリス作曲家)

昨年度福富小・中学校が開校して、他校種の先生方や児童と関わる機会が増え、自分の視野が広がったように思います。小学校入学前の幼稚園やこども園、中学校卒業後の高等学校のことも学べば、より成長するチャンスが大きくなりますね。子ども達に質の高い学びを提供するためにも、私達自身が視野を広げ、成長していきましょう!